



玉名市立鍋小学校

学級数 8 学級

児童数 132 名

玉名市小中一貫教育・・・玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

岱明中学校区教育目標

「郷土の誇りをもち、夢に向かって挑戦する児童生徒の育成」

岱明中学校区でめざす子ども像

- 夢を持ち、主体的な学びを身につけた子ども
- 郷土に誇りを持ち、素直で思いやりのある子ども
- 心身ともに健康で、根気強くやり抜く子ども

1 鍋小プライド

明治5年4月に、鍋南小、鍋北小、扇崎小、沖洲東小の4公立小学校を創立し、それ以来、合併と改称を重ねて、鍋小学校となりました。147年の歴史ある学校です。地域には、鍋小学校の卒業生も老若男女を問わず、地域の皆さんに愛され、支えられている学校です。こんな鍋小学校には、代々大切にされているものがたくさんあります。その中から3つご紹介します。

(1) 校歌

現在の鍋小学校の校歌は、昭和39年3月に制定されました。歌詞は地域の方に一般公募され、検討と補作を重ねて完成しました。写真は前庭にある校歌の石碑です。行事や集会のたびに、50年以上歌い継がれてきた校歌を、子どもたちは、いつも大きな声で元気よく歌っています。



(2) 学校支援ボランティア

登下校見守りのスクールボランティアや学校支援ボランティアに、今年も54名の地域の方が登録してくださいました。運動会ではお世話になっているスクールボランティアの方々を紹介して、感謝の気持ちを伝えていきます。朝夕とも、通学路の危険箇所等に見守りの方がおられ、地域によっては、下校時に毎日お迎えに来てくださいます。子どもたちの安全安心のかなめの皆さんです。



(3) 地域とともに体験活動

地域の皆さんの協力で、鍋小学校の子どもたちはさまざまな体験活動に取り組んでいます。写真は、5月の芋苗植えの様子です。上鍋老人会の皆さんに、畝づくり、マルチシート敷きまで準備していただき、体験当日は、子どもたちに苗の植え付け方を教えてくださいました。



芋の収穫、どんどや、社会福祉協議会と連携したふれあいサロン（地域のお年寄りとの交流）など、子どもたちと地域をつなぐ体験活動に取り組んでいます。

2 学校教育目標

郷土に誇りをもち 夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

経営の基本方針

子どもたちの「夢」の実現のために、全校職員の情熱と誇りをもった「協働」体制のもと、子どもたち一人一人の瞳が輝く、信頼に満ちた学校を「創造」する。

☆ チームワーク（夢・協働・創造）☆

3 めざす子ども像

☆ 瞳輝く子ども ☆

～夢・協働・創造～

【校訓】	やさしく	かしこく	たくましく
	思いやり	学び	健康

- 夢をもち、主体的な学びを身に付けた子ども（学び）
- 郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある子ども（思いやり）
- 心身ともに健康で、根気強くやり抜く子ども（健康）

4 教育活動の実践



(1) 校内研修（教師の授業力向上）

岱明中校区共通の研究主題「主体的に学び、人を思いやり、健康で根気強くやり抜く児童生徒の育成～輝く十五の春を目指す岱明版スタンダードの実践～」を受けて、本校では、重点研究テーマ「主体的・対話的で深い学びの実現を通して、自ら考え表現する子どもの育成～深い学びをうむ国語授業づくりを通して～」を設定し、「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりに取り組んでいます。岱明版授業スタンダードを土台に、自力解決と学び合いの両輪が機能するよう、全職員で授業改善を進めています。これから、全ての教師が研究授業に臨みながら、子どもたちの学力向上につなげていきます。



(2) 地域プロジェクト

子どもと保護者や地域の方との熟議によって、子どもが自分や学校、地域の未来を創造していく経験を通して、子どもの自力活動と成長を地域全体で支援していこうという取組を進めています。

6月には、地域の学校評議員さんと、代表の子どもたちとともに、ランチミーティングを実施しました。その後、子どもたちだけで、さらに話し合っ、意見を整理しました。地域の皆さんに「さわやかな挨拶を交わし、ありがとう（感謝）」を伝えて、自分が、学校が、鍋が大好きで、そして、地域に貢献できる子どもたちが育ってくれと期待しています。



地震・津波避難訓練は、保育園と一緒に実施するよう計画し、区長さんに見ていただきました。その後、地域防災会議を開き、地域防災について検討を進めました。また、区長さん、民生委

員さん、PTA役員さんが一堂に会する「すくすく会」において、子どもたちを参画させ、学校教育に関する意見交換の他に、積極的に子どもたちの活動に関わっていただく予定です。今後も「地域とともにある信頼される学校づくり」を推進していきます。